

年 組 名前：

対話型AI利用 中学生43%

対話型の生成人工知能（AI）① 利用している高校生は73.7%② 上り、中学生では43.2%、小学生でも36.6%になることが、学研教育総合研究所の調査で分かりました。小中高生いずれも主な利用目的は情報収集③ 勉強の補助でした。昨年11月にインターネット調査を行い、小1から高3まで④ 各学年の男女100人ずつ計2400人が回答しました。生成AIを利用する小中高生に自身の「考える力」についても聞きました。小中学生は考える力が「強くなった」と答えた人が「弱くなった」より多くいました⑤、高校生は「弱くなった」の方が多いです。いずれも「特に変化を感じない」が最も多く、小学生42.1%、中学生49.8%、高校生42.1%でした。専門家は「生成AIの利用が深い学びにつながるかを意識すべきだ。リテラシーを育み、子どもが思考力のサポート役として使えるようにするのが重要だ」と指摘しています。

たいわがた 対話型生成AIの利用目的			
	小学生	中学生	高校生
1位 じょうほうしゅうしゅう 情報収集のサポート	情報収集のサポート	宿題・勉強の手助け	宿題・勉強の手助け
2位 しゅくぎ・めいしやう 宿題・勉強の手助け	宿題・勉強の手助け	情報収集のサポート	宿題・勉強の手助け
3位 いらすとが イラスト・画像の作成	イラスト・画像の作成	文章・物語の作成	なや 悩み相談・ カウンセリング

(学研教育総合研究所の調査による)

(2026年4月9日付 山梨日日新聞 週刊にぴっと10面)

問題1 記事の①～⑤に入る助詞を答えてください。(「は」は使いません)

① () ② () ③ () ④ () ⑤ ()

問題2 次のAとBの文が表す内容は同じか。「同じである」「異なる」のうちから選びましょう。

A 生成AIを利用する小中高生に自身の「考える力」についても聞きました。小中学生は考える力が「強くなった」と答えた人が「弱くなった」より多くいましたが、高校生は「弱くなった」の方が多いです。いずれも「特に変化を感じない」が最も多く、小学生42.1%、中学生49.8%、高校生42.1%でした。

B 中学生は、自身の「考える力」が強くなったと感じている。

「同じである」 「異なる」